

申込締切日  
6月22日(火)  
17時

参加費無料  
交通費・宿泊費実費

# 参加者募集のご案内



◀ 申込はこちら

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) では、2002 年度から大学等の研究成果の実用化を促進する人材の育成・確保のため、大学・TLO・公的研究機関・地方自治体等で産学官連携・技術移転業務に携わる人材(目利き人材)の専門能力の向上、目利き人材のネットワーク構築等を目的とした研修を実施してきました。これまで延べ約11,000 名を超える方々にご参加いただいています。今年度も大学等で研究開発プロジェクトの推進を行うコーディネータや研究者、リサーチ・アドミニストレータ (URA) 等の方を対象とした研修を実施します。

コースの概要

本コースでは、  
産学官連携に従事する方を  
対象に、コーディネータとして技術  
シーズの価値を高め、事業化に至るまで  
のプロデュースについて学びます。  
具体的なケース事例を用いて事業化の  
プロセスに沿って全体を俯瞰しながら、  
様々な分析手法を用いた多面的な検討を  
通じ、ビジネスを構築するために必要な  
知識とスキルを習得します。

詳細は裏面を  
ご覧ください

## バリュープロデュースコース

産学官連携による研究成果の  
ビジネスプロデュースを目指す

2021年

9月8日(水)~9日(木)

2022年

11月10日(水)~11日(木)・1月12日(水)~13日(木)

## コース概要・日程／募集人数30名

※第1回～第6回の全課程を受講された方には、修了証を授与いたします。  
※都合によりオンライン形式の開催へ変更の可能性があります。

概要		日程
第1回	<b>事業化へのロードマップ</b> 事業化した事例に触れてコーディネータに求められる役割や検討すべき内容を理解する。 また、研究成果を事業化するための出口目標を知り、目標達成に至るまでのプロセスを把握する。	9月8日(※) 10:00～17:00
第2回	<b>産学官連携の全体俯瞰と研究成果の選別・評価</b> 産学官連携表を基に研究成果の選別・評価をグループで検討する。 その結果を踏まえた研究成果の取扱い方針をグループで検討する。	9月9日(※) 9:30～16:30
第3回	<b>知財戦略の検討</b> 技術移転における知財戦略の意義と留意すべきポイントを理解する。 知財戦略等の検討に向けた特許調査やパテントマップの作成・分析に対するポイントを理解する。	11月10日(※) 10:00～17:00
第4回	<b>研究成果の付加価値の創出</b> 研究成果に係わるニーズの捉え方や付加価値の創出について学ぶ。 技術マーケティングの実践方法の1つであるS-N変換を用いて新たな価値や市場創出の可能性を検討する。	11月11日(※) 9:30～16:30
第5回	<b>事業化シナリオの策定①</b> 座学講義やグループ討論を通じて、事業化シナリオの検討ポイントや そのために収穫すべき情報等を理解する。	2022年 1月12日(※) 10:00～17:00
第6回	<b>事業化シナリオの策定②</b> 事業化に向けて取り組むべき課題やリスク等の整理と今後取り組むべき技術開発や知財戦略等とロードマッピングを 策定し、最終的に事業化シナリオとして取りまとめる。	2022年 1月13日(※) 9:30～16:30

### 会場

国立研究開発法人 科学技術振興機構

東京本部 別館 〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

### 主な講師 (五十音順)

各務 茂夫 (東京大学 大学院工学系研究科教授 産学協創推進本部副本部長)

久保 浩三 (独立行政法人工業所有権情報・研修館 理事長)

鈴木 剛一郎 (株式会社イノベーションマネジメントコンサルティング)

### 申込受付期間

6月1日(※)～6月22日(※) 17時

### 申込方法

下記のURL (申込受付フォーム) よりお申し込みください。

[https://form.jst.go.jp/enquetes/mekiki\\_value\\_2021](https://form.jst.go.jp/enquetes/mekiki_value_2021)

※受講希望者が募集定員を上回った場合には、事務局にて調整させていただきますので、あらかじめご承知おきください。

申込先着順ではありません。受講の可否は、メールでお知らせいたします。



### 参加費

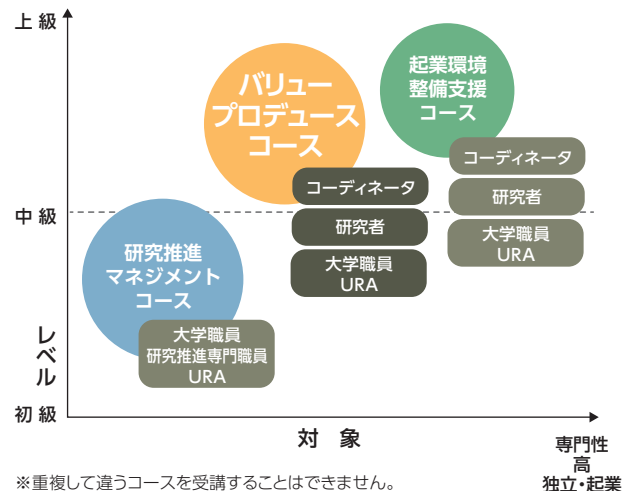
無料 但し、交通費、宿泊費等については各自でご負担願います

### 参加対象

大学等、企業において産学官連携に関わり、研究推進を行う研究者やコーディネータ活動に従事している方、または研究支援あるいは事業化支援を行っている方

### コースの特徴

今年度実施の研修3コースカリキュラムの構成と位置づけ



### お問い合わせ・お申し込み先

運営事務局

公益財団法人 全日本科学技術協会 (JAREC)

バリュープロデュースコース

担当:大門・菅沼 TEL:03-3831-5911

E-mail: value21@jarec.or.jp

国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

科学技術イノベーション人材育成部

<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/index.html>